

環境経営レポート

2024年版



IKEDA

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

株式会社 池田組



発行日：2025年5月25日

発行責任者：池田 直子

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社 池田組
代表取締役 池田 五樹

所在地

本社・資材置場・倉庫・駐車場 〒527-0134 滋賀県東近江市平松町863
豊郷営業所 〒529-1172 滋賀県犬上郡豊郷町安食南147-22

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者:代表取締役 池田五樹
連絡先: TEL:0749-45-2463 FAX:0749-20-2135
連絡担当者:総務課 池田直子
連絡先: TEL:0749-45-2463 FAX:0749-20-2135
mail: ikedagumi@zeus.eonet.ne.jp

事業活動の内容(認証・登録範囲)

土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、管工事業、造園工事業、水道施設工事業
滋賀県知事許可(特-29) 第 50014号

事業の規模

売上高 152 百万円/2024年
工事件数 8 件/2024年
全従業員 12 名 2024年4月1日現在
当社の事業年度は1月から12月です

事業組織

面積: m ²	本社	豊郷営業所
事務所床面積	71.21	20
倉庫床面積	245.54	—
駐車場面積	487.75	—
資機材置場面積	2,698	—
従業員 名	12	0
認証・登録	○	○

豊郷営業所は無人で、環境負荷はありません

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	22,320	29789	45,755
二酸化炭素排出量百万円原単位	Kg-CO ₂ /百万円	165.3	189.7	301.0
廃棄物の排出量	t	220	85.3	135.2
水の使用量、排水量	m ³	22	22	23

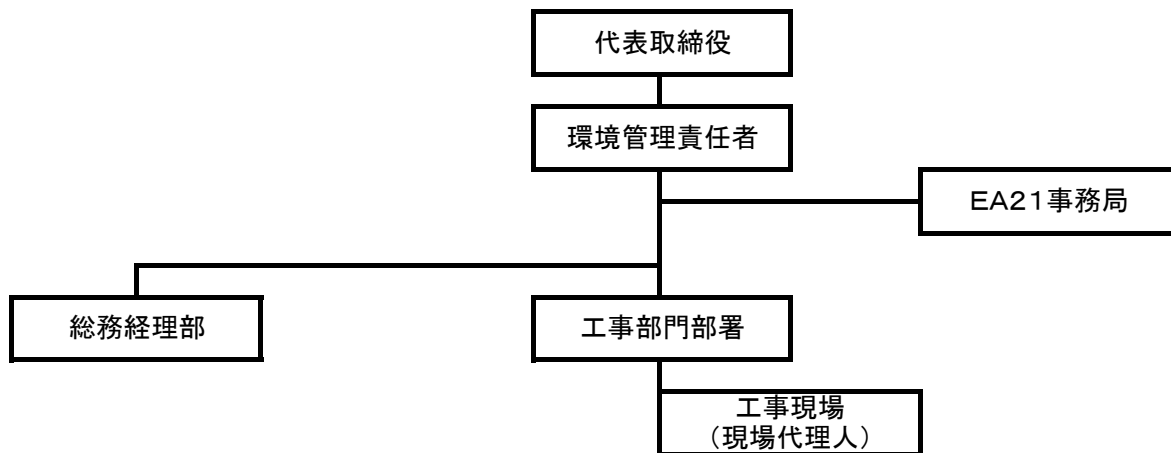
環境活動取組期間は4月から翌年3月です。

購入電力の排出係数は、関西電力2020年度調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2024年の3ケ年間固定します。

化学物質の使用はありません。

EA21実施体制組織図

作成日： 2023年4月1日



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 池田組

環境経営方針

環境理念

当社は、建設業という自然にかかわりの深い業種であり、豊かで美しい自然環境との共存が最重要課題であると認識し、企業活動と地球環境との調和を目指し、環境保全活動に貢献します。

行動指針

当社は、滋賀県を中心とした土木工事、舗装工事、道路維持の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所での電力使用量及び建設現場での重機車両等の燃料使用量を削減することによりCO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。
 - ☆ 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境に配慮した施工を推進します。
 - ☆ 環境活動（淡海エコフオスター活動等）の社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2017年4月1日

改訂日：2019年4月1日

代表取締役 池田 五樹

3 環境経営目標とその実績

2021年度の実績を基準値として、2022年度から2026年度までの目標を設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2024年4月1日から2025年3月31日までの1年間の運用実績について取りまとめました。

						次年度	中長期	
環境経営方針	取組項目	年度 単位	2021年	2024年 取組年 2024年4月1日～2025年3月31日		2025年	2026年	
			(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
		事務所での電力使用量及び建設現場での重機車両等の燃料使用量を削減することによりCO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年比達成率	—	97%	97.6%	96%
使用量	4,564			4,381	4,453	4,381	4,336	
(kg-CO ₂)	1,602			1,538	1,563	1,538	1,522	
ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率		—	97%	121.1%	96%	95%	
	使用量		1,680	1,613	2,035	1,613	1,596	
	(kg-CO ₂)		3,898	3,742	4,721	3,742	3,703	
軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率		—	97%	227.8%	96%	95%	
	使用量		6,687	6,420	15,235	6,420	6,353	
	(kg-CO ₂)		17,252	16,562	39,306	16,562	16,390	
灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率		—	97%	91.7%	96%	95%	
	使用量		72	69	66	69	68	
	(kg-CO ₂)		179	172	164	172	170	
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率		—	97%	199.5%	96%	95%	
	(kg-CO ₂)		22,931	22,014	45,755	22,014	21,785	
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)	目標・基準年比達成率		—	97%	218.0%	96%	95%	
	(kg-CO ₂ /百万円)		138.1	134.0	301.0	132.6	131.2	
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場		目標・取組年比達成率	—	—	110.9%	—	—
			(%/年)	99.95%	90%	99.84%	90%	90%
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水(単位：m ³)	目標・基準年比達成率	—	97%	69.7%	96%	95%	
		使用量(m ³)	35.0	33.0	23.0	33.6	33.3	
	濁水防止の適正監視(単位：%) 建設現場	目標・基準年比達成率	—	—	100%	—	—	
	%	100%	100%	100%	100%	100%		
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進(単位：%) 建設現場	目標・取組年比達成率	—	—	100%	—	—	
		(%/年)	100%	100%	100%	100%	100%	
環境活動(淡海エコフオスター活動等)の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位：回)	目標・取組年比達成率	—	—	100%	—	—	
	(以上/年)	12回	12回	12	12回	12回		

目標の説明や補足事項

- 購入電力の排出係数は、関西電力2020年度調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを2022年から2025年の間固定します
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対して建設リサイクル90%推進します
- 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減及び建設現場の濁水監視100%を実施します
- 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車輛を100%使用します
- 環境活動は淡海エコフオスター活動で地域の美化活動に参加します
- 化学物質の取扱いは無いので、目標に掲げません
- 2025年の目標は、仮目標です
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組みます

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所での電力使用量及び建設現場での重機車両等の燃料使用量を削減することによりCO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	① 不用時の消灯 ② 設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L)	① エコドライブ・アイドリングストップ ② 環境に配慮した稼働 ③ 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認	工事部
	軽油使用量の削減 (単位:L)		
	灯油使用量の削減 (単位:L)	① ストープの温度管理 (冬季20℃±1℃)	
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%) 建設現場	廃棄物 ① 廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工事部
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 (単位:mi)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	工事部
	濁水防止の適正監視 (単位:%) 建設現場	① 建設現場で濁水防止の適正監視する	工事部
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進 (単位:%) 建設現場	① 環境配慮施工の推進 ② 低騒音・低振動型重機の使用 ③ 排ガス規制適合車の使用	工事部
環境活動（淡海エコフオスター活動等）の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	① 地域の清掃活動に参加する。	事務部

取組の紹介

- 1 淡海エコフオスター制度は滋賀県に登録して、県道等の清掃活動をボランティアで月1回参加する制度です。
- 2 東近江市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価：○達成 △基準年を105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度	2024年 取組年 2024年4月1日～2025年3月31日		評価	取組の評価
			(目標)	(実績)		
事務所での電力使用量及び建設現場での重機車両等の燃料使用量を削減することによりCO ₂ の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年 比達成率	97%	97.6%	△	不用時の消灯、エアコンの温度管理など気をつけている。夏の暑い時期はやはりエアコンを使うので消費電力が多かった。
		使用量	4,381	4,453		
		(kg-CO ₂)	1,538	1,563		
	ガソリン使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	97%	121.1%	×	毎朝、車両の整備や不用積載物の有無の確認を行っている。建設現場でも重機の環境に配慮した稼働やアイドリングストップなどを心がけた。事務所では冬場に灯油を使用したため目標達成できなかった月がある。
		使用量	1,613	2,035		
		(kg-CO ₂)	3,742	4,721		
	軽油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	97%	227.8%	×	
		使用量	6,420	15,235		
		(kg-CO ₂)	16,562	39,306		
	灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年 比達成率	97%	91.7%	○	
		使用量	69	66		
		(kg-CO ₂)	172	164		
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年 比達成率	97%	199.5%	×		
	(kg-CO ₂)	22,014	45,755			
二酸化炭素排出量原単位 (CO2/百万円)	目標・基準年 比達成率	97%	218.0%	×		
	(kg-CO ₂ /百万円)	134.0	301.0			
建設現場の廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：％) 建設現場	目標・取組年 比達成率	—	110.9%	○	建設現場からの廃棄物はリサイクルを推進している。事務所内のごみについても分別、リサイクルを心がけている
		(％/年)	90%	99.84%		
建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水(単位：m ³)	目標・基準年 比達成率	97%	69.7%	○	水使用量の削減を意識し、水を流し放しの使用はしないなど励行した
		使用量(m ³)	33.0	23.0		
	濁水防止の適正監視(単位：％) 建設現場	目標・基準年 比達成率	—	100%	○	建設現場で濁水防止の適正監視を行った。今後も引き続き徹底する
		％	100%	100%		
環境に配慮した施工を推進します。	環境配慮施工の推進(単位：％) 建設現場	目標・取組年 比達成率	—	100%	○	低騒音、低振動型重機を使用しており、引き続き環境配慮施工に努める
		(％/年)	100%	100%		
環境活動(淡海エコフオスター活動等)の社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する (単位：回)	目標・取組年 比達成率	—	100%	○	毎月、エコフオスター活動を行い、環境活動の社会貢献を推進している
		(以上/年)	12回	12		

次年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、車輛・重機等のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して建設リサイクル90%に取り組む
- 3 水使用量の削減では使用量削減に努める。また建設現場の濁水監視100%を実施する
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車輛を100%使用する。
- 5 環境活動は淡海エコフオスター活動で地域の美化活動に参加する

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況		
法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設資材廃棄物の再資源化、特定建設資材を用いた建築物等の新築工事	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石綿含有建材の事前調査	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、引き渡し、点検記録の保存、解体時の第一種特定製品の有無の事前確認、発注者に書面（事前確認書）を交付	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年5月20日

環境への配慮の観点から、電力、ガソリン、水などできることは削減を心がけており、従業員にも周知、徹底して声かけをしている。仕事内容により、建設重機の使用作業が多くあり、軽油使用量は年間で目標を超過した。引き続き重機の効率的な稼働の活動を継続していく。目標設定年度が終わりましたので、新たな環境経営目標、環境経営計画を策定して取り組む。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり